



平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部
 コード番号 4118 URL <http://www.kaneka.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)菅原 公一
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)石原 忍 TEL (06)6226-5169
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日 配当支払開始予定日 平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	201,810	△18.9	8,020	△21.1	7,227	△29.3	3,987	△19.5
21年3月期第2四半期	248,925	—	10,160	—	10,218	—	4,953	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	11	75	11	75
21年3月期第2四半期	14	56	14	55

※昨年度は「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用初年度であったため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年3月期第2四半期	422,280		254,339		58.5	728	70	
21年3月期	418,489		249,529		58.1	717	15	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 247,219百万円 21年3月期 243,305百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—		8	00	8	00
22年3月期	—		8	00	—	—
22年3月期(予想)	—		—		8	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	410,000	△8.8	13,000	71.0	11,000	88.2	6,000	—	17	69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

※前期 (平成21年3月期) の「当期純利益」は純損失であったため、対前期増減率は記載しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

〔(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年3月期第2四半期	350,000,000株	21年3月期	350,000,000株
-------------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

22年3月期第2四半期	10,741,462株	21年3月期	10,735,630株
-------------	-------------	--------	-------------

- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

22年3月期第2四半期	339,259,628株	21年3月期第2四半期	340,291,567株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の業績は、売上高は201,810百万円（前年同四半期比18.9%減）、営業利益は8,020百万円（前年同四半期比21.1%減）、経常利益は7,227百万円（前年同四半期比29.3%減）となりました。また、四半期純利益は3,987百万円（前年同四半期比19.5%減）となりました。

セグメント別では、前年同四半期連結累計期間と比較して、売上高は全事業が減収となりました。営業利益は、機能性樹脂事業、発泡樹脂製品事業、食品事業が増益となりましたが、化成品事業、ライフサイエンス事業、エレクトロニクス事業、合成繊維、その他事業は、国内及び海外市場の需要回復の遅れにより減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化成品事業

塩化ビニール樹脂は、中国をはじめとする海外需要が回復基調にある一方、国内需要は低迷し、原料価格上昇に伴う販売価格への転嫁に努力したものの減収減益となりました。塩ビ系特殊樹脂は、国内需要が低調に推移しました。か性ソーダは、海外市況が急落し、国内需要も低迷しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は38,540百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ12,257百万円（24.1%減）の減収となり、営業利益も519百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,282百万円（71.2%減）の減益となりました。

②機能性樹脂事業

モディファイヤーは、アジア市場、欧米市場ともに本格的な回復に至らず、日本市場も低迷し減収となりましたが、原燃料価格の変動に対応した販売価格の修正やコストダウン等による収益体質強化策の徹底により増益となりました。変成シリコンポリマーは、米国市場が堅調に推移したものの日本・欧州での建築関連需要の不振が響き、減収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は31,168百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ10,659百万円（25.5%減）の減収となりましたが、営業利益は4,796百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,115百万円（30.3%増）の増益となりました。

③発泡樹脂製品事業

発泡樹脂製品は、国内市場の低迷による発泡スチレン樹脂・成型品、押出發泡ポリスチレンボードの販売数量の減少に加え、ポリスチレンペーパー等の事業撤退の影響も重なり、減収となりましたが、徹底した製造コストダウンと経費削減に努めました。

以上の結果、当セグメントの売上高は26,533百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ11,502百万円（30.2%減）の減収となりましたが、営業利益は2,417百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ2,539百万円の増益となりました。

④食品事業

食品は、消費者の節約・低価格志向により、需要が伸び悩むとともに低価格化競争が激化し、販売数量・価格ともに下落しましたが、コストダウンと新製品拡販による収益の回復に注力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は59,127百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ2,442百万円(4.0%減)の減収となりましたが、営業利益は4,176百万円と価格修正の遅れから大幅に落ち込んだ前年同四半期連結累計期間と比べ3,270百万円(360.8%増)の増益となりました。

⑤ライフサイエンス事業

医療機器は、インターベンション事業の販売が順調に拡大し、増収増益となりました。医薬バルク・中間体は、販売数量が前年同四半期を下回り、減収減益となりました。機能性食品素材は、高機能品の販売数量が増加傾向にあるものの、既存製品の競争激化に伴う販売価格下落と販売数量の減少により、減収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は17,900百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ2,715百万円(13.2%減)の減収となり、営業利益も1,929百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,426百万円(42.5%減)の減益となりました。

⑥エレクトロニクス事業

超耐熱性ポリイミドフィルム・液晶関連製品は、エレクトロニクス製品の市場回復に伴い販売数量は伸びてきておりますが、液晶関連製品を除き前年同四半期の水準には至らず、減収減益となりました。太陽電池は、欧州での需要低迷により販売数量が前年同四半期を下回り、競争の激化に伴う価格下落も響き、減収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は17,841百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ4,611百万円(20.5%減)の減収で、営業損失は3,478百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ5,484百万円の大幅な減益となり、採算割れとなりました。

⑦合成繊維、その他事業

合成繊維は、世界的な景気低迷の影響から海外各市場の需要が低調に推移し、円高の影響も加わって減収減益となりました。また、その他事業も、エンジニアリング子会社の解散決定に伴い減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は10,698百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ2,925百万円(21.5%減)の減収となり、営業利益も664百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,078百万円(61.9%減)の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,790百万円増の422,280百万円、有利子負債残高は8,228百万円減の63,929百万円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により4,809百万円増の254,339百万円となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等によりプラス30,994百万円、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等によりマイナス11,655百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入の返済等によりマイナス12,384百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、32,483百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内及びアジア・欧米を中心とする海外市場における需要動向は、回復基調にあるものの依然不透明な状況にあります。また、原油・ナフサ価格等の原燃料価格の上昇、更なる円高の進行等が懸念される情勢にあり、今後の予想が困難なことから、通期の連結業績予想の現時点での修正は見送ることといたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

なお、一部の連結子会社では、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加減算項目や税額控除項目のうち、僅少なものを省略する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,436	24,088
受取手形及び売掛金	89,317	86,807
有価証券	7,322	422
商品及び製品	36,407	39,201
仕掛品	9,554	10,109
原材料及び貯蔵品	18,427	18,222
その他	10,700	13,760
貸倒引当金	△419	△391
流動資産合計	196,746	192,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	51,836	51,234
機械装置及び運搬具（純額）	65,081	65,736
その他（純額）	44,123	45,365
有形固定資産合計	161,042	162,336
無形固定資産	1,996	2,186
投資その他の資産		
投資有価証券	44,855	39,981
その他	17,962	22,093
貸倒引当金	△323	△327
投資その他の資産合計	62,494	61,747
固定資産合計	225,533	226,269
資産合計	422,280	418,489

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,924	43,030
短期借入金	19,307	40,304
未払法人税等	2,918	1,983
引当金	—	72
その他	29,040	33,543
流動負債合計	99,190	118,932
固定負債		
社債	20,000	5,000
長期借入金	25,021	22,254
退職給付引当金	18,518	18,116
引当金	259	265
負ののれん	951	—
その他	3,998	4,392
固定負債合計	68,750	50,027
負債合計	167,940	168,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	34,836	34,836
利益剰余金	189,626	188,357
自己株式	△9,582	△9,583
株主資本合計	247,928	246,656
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,489	4,643
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	△8,198	△7,996
評価・換算差額等合計	△708	△3,351
新株予約権	109	75
少数株主持分	7,009	6,148
純資産合計	254,339	249,529
負債純資産合計	422,280	418,489

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	248,925	201,810
売上原価	191,907	151,981
売上総利益	57,018	49,828
販売費及び一般管理費	46,857	41,807
営業利益	10,160	8,020
営業外収益		
受取配当金	726	674
投資有価証券売却益	495	—
為替差益	656	—
その他	821	670
営業外収益合計	2,700	1,344
営業外費用		
支払利息	647	489
固定資産除却損	702	609
為替差損	—	318
その他	1,292	721
営業外費用合計	2,642	2,138
経常利益	10,218	7,227
特別損失		
投資有価証券評価損	1,350	—
減損損失	474	—
特別損失合計	1,824	—
税金等調整前四半期純利益	8,394	7,227
法人税、住民税及び事業税	3,808	1,876
法人税等調整額	△521	962
法人税等合計	3,286	2,838
少数株主利益	154	400
四半期純利益	4,953	3,987

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,394	7,227
減価償却費	13,300	12,851
減損損失	474	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△473	1,571
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	31
受取利息及び受取配当金	△891	△759
支払利息	647	489
持分法による投資損益(△は益)	12	△49
固定資産処分損益(△は益)	423	762
投資有価証券評価損益(△は益)	1,350	41
売上債権の増減額(△は増加)	1,169	△1,927
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,196	3,283
仕入債務の増減額(△は減少)	563	3,898
その他	△976	2,481
小計	13,775	29,901
利息及び配当金の受取額	891	767
利息の支払額	△713	△493
法人税等の支払額	△4,351	818
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,600	30,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,734	△11,189
無形固定資産の取得による支出	△514	△147
投資有価証券の取得による支出	△391	△133
投資有価証券の売却による収入	730	306
関係会社株式の取得による支出	△760	△431
貸付けによる支出	△15	△162
貸付金の回収による収入	68	107
その他	△248	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,864	△11,655

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,752	△21,695
長期借入れによる収入	5,016	2,865
長期借入金の返済による支出	△465	△437
社債の発行による収入	—	15,000
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△285	△225
配当金の支払額	△2,722	△2,714
少数株主への配当金の支払額	△117	△163
少数株主からの払込みによる収入	36	—
自己株式の取得による支出	△305	△15
自己株式の売却による収入	6	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,914	△12,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△142	202
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,491	7,157
現金及び現金同等物の期首残高	21,988	24,240
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	1,085
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,496	32,483

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	化成品 (百万円)	機能性 樹脂 (百万円)	発泡樹脂 製品 (百万円)	食品 (百万円)	ライフ サイエンス (百万円)	エレクトロ ニクス (百万円)	合成繊維、 その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,797	41,827	38,035	61,570	20,616	22,453	13,624	248,925	—	248,925
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,575	188	115	7	—	—	3,137	5,023	(5,023)	—
計	52,372	42,015	38,151	61,577	20,616	22,453	16,761	253,949	(5,023)	248,925
営業利益又は 営業損失(△)	1,802	3,680	△121	906	3,355	2,006	1,742	13,372	(3,211)	10,160

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	化成品 (百万円)	機能性 樹脂 (百万円)	発泡樹脂 製品 (百万円)	食品 (百万円)	ライフ サイエンス (百万円)	エレクトロ ニクス (百万円)	合成繊維、 その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	38,540	31,168	26,533	59,127	17,900	17,841	10,698	201,810	—	201,810
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,385	134	0	5	—	250	1,040	2,817	(2,817)	—
計	39,926	31,302	26,534	59,132	17,900	18,092	11,738	204,627	(2,817)	201,810
営業利益又は 営業損失(△)	519	4,796	2,417	4,176	1,929	△3,478	664	11,026	(3,005)	8,020

(注) 1. 事業区分は製品の種類、用途、製造方法、市場の類似性並びに製造過程における相互関連性、開発の基盤共通性等を総合的に判断し、取り決めております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 化成品事業・・・塩化ビニール樹脂、塩ビコンパウンド、か性ソーダ、塩化物、塩ビ系特殊樹脂
- (2) 機能性樹脂事業・・・モディファイヤー、変成シリコーンポリマー、耐候性MMA系フィルム
- (3) 発泡樹脂製品事業・・・発泡スチレン樹脂・成型品、押出發泡ポリスチレンボード、ビーズ法発泡ポリオレフィン
- (4) 食品事業・・・マーガリン、ショートニング、高級製菓用油脂、パン酵母、香辛料
- (5) ライフサイエンス事業・・・医薬品(バルク・中間体)、機能性食品素材、医療機器
- (6) エレクトロニクス事業・・・超耐熱性ポリイミドフィルム、液晶関連製品、複合磁性材料、太陽電池
- (7) 合成繊維、その他事業・・・アクリル系合成繊維(カネカロン)、エンジニアリング業務

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	33,698	18,511	29,994	9,342	91,546
II 連結売上高(百万円)					248,925
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.5	7.4	12.1	3.8	36.8

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	30,278	11,726	17,420	7,012	66,438
II 連結売上高(百万円)					201,810
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.0	5.8	8.6	3.5	32.9

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア……中国、韓国、台湾

北米……米国、メキシコ

欧州……ベルギー、英国

その他の地域……アフリカ、オセアニア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。